

歌人前田夕暮と近代画家たち

～鈴鹿高専図書館主催 第24回 文化講座～

(学生・教職員・一般の方向け) **参加費無料**

当日受付です(事前申込の必要はありません)

令和7年

10月20日(月)

16:30～17:20

第2合併講義室

問合せ 図書・情報係

059-368-1733

tosyo@jim.suzuka-ct.ac.jp



(長谷川利行『前田夕暮像』昭和5年 東京国立近代美術館蔵)

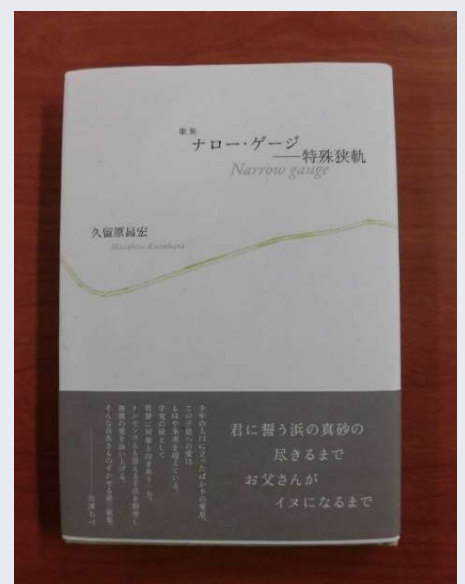
絵筆の先からうたが生まれた時代！

前田夕暮は、明治37年の上京当時、洋画の白馬会に出入りし、出展された青木繁の『海の幸』に強い感動を覚えた。

大正2年には「白樺」美術展覧会を見てゴッホ・ゴーギャンに傾倒し、短歌作品に後期印象派の影響を受ける。

また、大正から昭和にかけ、関根正二・長谷川利行・野口謙蔵といった洋画家との交流を持ち、忘れえぬ存在となる。謙蔵とは短歌の作風にも共通するものがある。

他に類を見ない程絵画に傾倒した歌人夕暮と洋画家たちとの関係関係について、文芸美術両面で具体的に見ていこう。



く る ほ り
久留原 昌宏

鈴鹿高専 教養教育科 教授・
歌人

1963年 亀山市生まれ

筑波大学 文芸・言語研究科
(文学修士)

日本近代文学・短歌創作論

著書
歌集『ナロー・ゲージ』(ながらみ
書房)・他